



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成23年5月1日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



撮影場所：柳田植物公園

3月議会の内容

●一般質問 P 2 - 3 ●議案質疑 P 4 - 5 ●委員会報告 P 6 - 7

平成23年第1回能登町議会定例会は、3月7日から15日までの12日間の日程で開催されました。

7日は、議案43件、請願1件が上程され、先議した人事案件4件が、同意されました。議案は、議案質疑の後、各常任委員会へ付託されました。

14日は、町政一般質問、18日には採決が行われ、議案39件は原案のとおり可決、請願1件は採択されました。

追加議案で上程された発議2件は原案のとおり可決されました。
また、議会運営委員の辞任1件が許可され、新委員が選任されました。

第24号

いっぱん質問



市濱等 議員

問 地域活性化推進協議会と共に東海大学との協定にける町の思いは

地域の活性化が求められている当町、協議会が取組む大学との連携に予算70万円が計上されている。東海大学と能登高校の今後は、同大学は日本海側の調査研究の拠点としたい意向だが、町としての今後の取り組み、今後期待するものは何か。

答 チャンスと捉え双方が理解を深め積極的に取組む

町長 同大学は国内有数の総合大学で、大学と町

が理解し合う事が大切である。学生等に町に来てもらい交流を深め、将来は研究機関等の立地、同大学の日本海唯一の拠点となるよう対応したい。

問 町営住宅を街中に建設することを取り戻せないか

町の景気改善と街中再生に、城野団地、梅ノ木団地の住宅建築工事を変更して、街中に建築することは出来ないか。

答 合併時の住宅マスタープランに基づいて進めている

町長 市街地における住宅建設は点在することで管理が難しく、ある程度のまとまった土地も必要。空き家情報等を提供し、民間同士の売買をサポートして活力を引出したい。

問 下水道水洗化率向上で産業の活性化は図れないか

水洗化率の良い事業がある。その後の事業は押しなべて加入率は50%前後。加入率の良い事業は個人負担が少ない事があげられる。現在、課税世帯で3万円の補助だが、これを10万円に引き上げることは出来ないか。水洗化率と共に建築部門にも良い影響があり、景気にプラスになると思うが、必要

答 下水道維持管理費は、加入率70%程度必要

上下水道課長 事業にはバラつきがあり、一様にはいえないが、右肩上がりで上昇している。今後



鶴野幸一郎 議員

問 町の遊休地を貸し付ける際には議決を要しないのか

長期間一定規模の土地を貸し付ける場合、特に建築物などを建て、又貸しをするなど、多大な利益を得られることが明白な土地を貸与する際、議会の議決や告知をしないのはなぜか。法的に問題はないのか。

また、宇出津新港に大型店が進出した場合、地元商業に多大な影響があるが町はどう考えているのか。

また、固定資産税相当額で貸付けるといふこと

だが、先に購入した人の不公平感があると思う。

答 土地を貸す場合に議会の議決は必要ない

町長 地方自治法には、普通財産の貸付け、交換、売却などに、特に議決などの必要性は要しないことと規定されている。

また、宇出津新港と宇出津商店街が共存出来るようにイベント等をするべきである。

土地を購入した方には感謝したい。町としては、遊休地を活用したい。



志幸松栄 議員

問 行政庁舎関係

議会庁舎について、経費の問題や一般の方々の利便性の問題もあり、今一番大きな能都庁舎に全部合わせればどうか。

答 議会庁舎は議員の判断でお願いしたい

町長 議会庁舎は、議員各位の判断でお願いしたい。3つの庁舎については、将来における庁舎の在り方をどうするべきか考えていきたい。庁舎検討委員会を新たに設置する予定。

問 防災訓練

防災の訓練について、宇出津駅前広場は、将来避難所として活用するのか。

答 消火栓を使った訓練は大変重要である

町長 地区の消火栓などの消防施設を使った訓練、あるいは災害予防のため大変重要と考えている。宇出津駅前広場は、イベント時にも利用できる。また、多様な活用が可能な駐車場や上下水道、電気設備を整備し、併せて緊急時に有効に利用できるよう配備し、災害時にかまどとして利用できたりするものもあり、検討していきたい。

問 融雪装置及び定住化促進

旧町村のメイン通りに融雪装置を設置する計画の必要性があるのでは。

住宅建築への助成や転入者への助成、ふるさと空き家事業支援について問う。

答 融雪装置は非常に有効な手段

町長 住宅が密集し、除雪作業がなかなか出来ない中心部に、融雪装置は非常に有効な手段だと考えている。事業を活用し市街地の除雪対策に取組んでいく。住宅の助成には、U・I・ターン等の定住促進を推進していく上でも何らかの助成制度の創設も検討したい。

ふるさと空き家事業補助金を設けており、町は2分の1助成をうけて事業促進を行っている。



宮田勝三 議員

問 公有財産の管理・運営の問

平成22年度の町有地の公募・売却の実状はどうなっているのか。また、5年ごとに台帳価格を見直すところがあるが、行われているのか。また、この度の公有地、賃貸及び売却を目的とする公募については、関係団体の意見交換など納得のいく運営を。

答 宇出津新港の3つの用地は目的に沿った目的の方に賃貸する

監理課長 平成22年度の実状は、普通財産の売却4件、金額にして470

万円である。台帳価格の見直しは、改定の時期も実は確認していない。今後作成の努力をする。

町長 公有地の公募に関しては、それぞれの目的に沿った目的の方に賃貸、売却をする方法で考えている。

問 能登高校の（永久）妙の存続に向けた案

青翔高校、北辰高校の閉校で、これまでにいくつか校名が消え、今後このようなことのないように努力をしなければ、通学費など家庭に与える経済的負担や町の活力を失うのでは。

答 積極的にハード・ソフト両面に支援

教育長 第3次編成があるとは考えていない。昨年度の1クラス減の話

が出たときには、県教育委員会に出向き、その都度存続のお願いをしている。

積極的にハード・ソフト両面で能登高校存続支援事業を展開していく。



議会傍聴にこられた町会区長会連合会のみなさん

その他質問者

○酒元法子 議員

○小路政敏 議員



議案をチェック

問 椿原 安弘 議員

能登町男女共同参画の推進について、具体的な予算が計上されていないが、審議会等を開かないのか。また、そのプランの行動計画を示せ。

答 教育委員会事務局長

今議会で条例が制定された後に補正予算を計上し、具体的に推進する。

行動プランについては

平成23年3月に策定済みなので、同様に条例制定後、広報誌に掲載するとともにダイジェスト版を各家庭に配布し推進を図る。

問 市濱 等 議員

集会所の指定管理制度について、経費や修繕の負担基準を示せ。

また、マイクロバスの運行規定についても説明を求める。

答 監理課長

集会所の管理運営に必要な経費や、軽微な修繕費等は指定管理者が負担。大規模な修繕等は町が負担する。

マイクロバスについては

は、自動車共済金は監理課で支払うが、運行については、所管する各担当課で管理する。

問 市濱 等 議員

建築関係の出来高調書は整備されているか。

答 総務課長

建築工事の内容により多少の違いはあるが、石川県の営繕課の基準に準拠して運用している。

問 鍛冶谷 眞一 議員

平成22年11月に東海大学と交わされた協定書の具体的な事業も予算も計上されていないが、どのように取組むのか。

答 町長

今後、細部について詰めていくという関係上、具体的な事業については予算を計上していない。

問 鍛冶谷 眞一 議員

能都中学校の改築の際、移転先の高校跡地にある校門は、寄贈されたものであるから残す配慮をすべき。

同様に、「少年よ大志を抱け」のクラーク博士像の製作者として知られる郷土が誇る彫像家「坂垣道」氏の作品についても対応を求める。

答 教育長

校門に関しては、県と協議して対処する。

問 向峠 茂人 議員

自殺防止緊急対策事業の説明をせよ。

答 健康福祉課長

この事業は、国からの

基金を受けて実施する県の事業で、小中学生や民生委員を対象にした講演会及びパンフレット作成や、DVDの貸し出し等を予定している。

問 向峠 茂人 議員

生涯学習推進費で中学生をオーストラリアに派遣するが、人数や選考の方法等を説明せよ。

答 教育委員会事務局長

去年は13名の派遣を行い、今年は15名を予定。選考については、町長が委員長を務め、選定委員会を開き、学校、学年を考慮して決定している。

問 新平 悠紀夫 議員

新町通り線街路整備事業並びにまちづくり交付金事業等の計画を示せ。

答 建設課長

平成23年度事業として、前年度繰越事業を含めて、



梶川橋の架け替えを予定。あばれ祭りには支障がない工期になっている。なお、梶川橋の撤去の前に、まちづくり交付金事業で岩屋町からAコープへ抜ける道路を新設する。

問 新平 悠紀夫 議員

公営住宅の事業の詳しい説明を。

答 建設課長

城野住宅並びに梅ノ木団地の建替えを計画。鶴川駅前住宅については、結露対策工事を予定。

問 大谷内 義一 議員

宇出津総合病院が導入している医薬分業は行政指導なのか。法律で定められているのか。

また、現在、院外で処方されている外来の薬を院内で行うとどれぐらいになるのか。

答 宇出津総合病院事務局長

昭和26年に医薬分業に関する法律が成立。原則として処方箋の発行が義務付けられ、法制化して

いる。また、院内で薬を出した場合の金額については、平成13年度末まで行っていた額を参考にすると、7億8000万円ほどであった。

問 大谷内 義一 議員

平成22年度の病院赤字補填1億3700万円を少しでも減らすため薬剤の院内処方是有効か。

答 町長

無駄を省くための医薬分業で、もう一度院内処方にするの逆に負担が大きくなり赤字が増える。

問 鶴野 幸一郎 議員

能都中学校の改築について、現校舎の利活用計画はあるのか。

答 教育委員会事務局長

現能都中学校は、平成24年度中に取り壊して、更地にする。跡地利用はまだ考えていない。

問 鶴野 幸一郎 議員

公の施設の条例改正の理由を質す。

答 監理課長

事業計画の必要なものと、必要でないものと、

また、公募と非公募のすみ分けをするための改正を提案した。

問 志幸 松栄 議員

墓地公園予算の詳細について説明せよ。

答 環境対策課長

町民からの要望が多く平成22年度に実施設計地籍調査を終え、4mが50区画、5mが50区画の100区画と動物霊園を1基。これに、通路・駐車場を整備する。

問 志幸 松栄 議員

能登町役場の職員数の適正化を示せ。

答 総務課長

合併当初577名であったが、5年間で目標を大きく上回る、101名の削減を達成。平成27年度4月までに職員数403名を目標に職員数の適正化計画を推進する。

【追加議案】

○ 発議第1号

能登町議会議員定数等検討特別委員会の設置に関する決議について

地方分権型社会にふさわしい議事機関・監視機関としての機能を発揮し、民意を的確に反映できる議会づくりに向け、その定数等について調査検討するために、能登町議会議員定数等検討特別委員会の設置に関する決議が提出され、原案のとおり可決、委員には次の議員が選任された。

委員長 山岸 昭夫

副委員長 志幸 松栄

委員 河田 信彰 椿原 安弘

市濱 等 國盛 孝昭

○ 発議第2号

東北地方太平洋沖地震の緊急災害対策を求める意見書の提出

去る3月11日午後に発生した東北地方太平洋沖地震により被災された方々の窮状を解消するため、国に対して被害の拡大を最小限にとどめ、被災地の復旧・復興対策について、財政的支援など万全の措置を講ずるよう強く要望する趣旨の意見書の提出が提案され、原案のとおり可決、関係機関に意見書を提出した。

○ 議会運営委員会委員に鍛冶谷員一議員を選任



総務

委員会

向峠茂人（委員長）
國盛孝昭（副委員長）
椿原安弘・奥成壮三郎
宮田勝三・鍛冶谷眞一

3月8日に委員会を開催し、付託された議案13件を審議、全会一致で可決すべきものとした。
審査過程での主な質疑応答、意見などは次のとおり。

●乗り合いタクシー

問 乗り合いタクシーの利用状況や運行方法は。また、実証運行期間の終了後はどのようなになるか。
答 普通車タクシーでの単独利用が多い。利用者は、一人当たり1000円を支払い、差額があれば町が支払う。平成23年度中に町商工会に予約センター事務を依頼し、町単独の本格的運行を予定。

●有線テレビ施設能都

地区再整備事業
問 この整備工事に係る入札参加は何社で、落札率は。また、設計仕様が、

一部の業者向けになっていなかったか。

答 入札参加は2社で、80・5%の落札率であった。また、約13億円のうち10億円を占める有線テレビ施設整備はメーカーを特定する仕様にはなっていない。約3億円の告知器整備に関しては、内浦地区で整備した設備を有効利用するためその仕様を基本に設計したが、他社を排除する設計にはなっていない。

●空中写真撮影

問 空中写真撮影の利用法は何か。
答 現在ある地図情報システムと連動し、所有者面積などの確認に利用。

●家屋の新築件数

問 平成22年度の新築件数は何件か。
答 木造42件、非木造が5件。

●消防分団員

問 災害・火事に重要な役割を果たす分団員を募集し、確保するため、役場新規採用職員を分団登録できないか。
答 5名ほど分団員登録している職員がいる。分団に対して、新規採用職員の存在を情報提供する。

●インターネット加入促進

問 インターネット加入促進の実施内容は。
答 一定期間の加入促進期間を設け、全地域を対象に加入負担金及び宅内基本工事費を無料とする。

●携帯電話不感地帯

2月14日の町会区長会連合会懇談会で、携帯電話不感地帯に関する要望があったことを受け、平成24年度事業希望地区として国へ申請するよう要請した。

教育民生

委員会

南 正晴（委員長）
市濱 等（副委員長）
金七祐太郎・久田良平
新平悠紀夫・大谷内義一

3月8日に委員会を開催し、付託された議案14件、全会一致で可決、採択すべきものとした。
審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●子宮頸がんワクチン接種

問 助成状況と積算基礎は。
答 接種は任意である。費用は医療機関によつて異なるが、概ね1回1万5000円で、270回分を計上。

●保険税納税奨励費

問 納税奨励費が計上されているが、奨励費は廃止されたのでは。
答 廃止されたのは、全額一括払いの前納報奨金である。

納税組合へは、取扱件数で算定し支払っている。

●墓地公園の造成

問 申し込み状況は。100区画で足りるのか。また、販売価格は。

答 平成22年度で、14件程度の問い合わせがあった。4㎡50区画、5㎡50区画の計画。
6㎡は大きすぎるという意見もあった。

価格は、4㎡32万円、5㎡42万円で、管理費は10年間で2万円である。

●学力テスト分析、基礎学力調査委託費

問 算数を取り入れたと聞く、当町の学力は。
答 全国で、石川は4位、県内ではよい方である。指導者のレベル確認、指導方法の研究のため。

●地域医療、緊急医療体制、通信交流

問 他の病院とデータ交流など早急に受け入れできる体制か。
答 平成23年度研究する予定で、平成24年度に導入する予定である。これにより、宇出津総合病院の患者のカルテを金沢大学付属病院で閲覧することが可能となる。珠洲、輪島病院も同様に閲覧することが可能となる。珠洲や輪島病院と広域に組織む場合は、県が費用負担をしてくれる。

県立中央病院、金沢大学附属病院から各1名の医師に来てもらえることとなり、12名から14名体制になる。

産業建設 委員会

酒元法子（委員長）
小路政敏（副委員長）
河田信彰・志幸松栄
山岸昭夫・鶴野幸一郎

3月8日に委員会を開
催し、付託された議案16
件、請願1件を審議、全
会一致で可決・採択すべ
きものとした。

●環境啓発事業
●環境啓発事業の説明
をせよ。

●環境啓発事業の説明
をせよ。

●環境啓発事業の説明
をせよ。

●環境啓発事業の説明
をせよ。

●環境啓発事業の説明
をせよ。

●環境啓発事業の説明
をせよ。

●環境啓発事業の説明
をせよ。

●環境啓発事業の説明
をせよ。

●環境啓発事業の説明
をせよ。

●環境啓発事業の説明
をせよ。

●イカす会

●イカす会「イカす会」の再開
に向けて町としての支援
策は。

●イカす会「イカす会」の再開
に向けて町としての支援
策は。

●イカす会「イカす会」の再開
に向けて町としての支援
策は。

●イカす会「イカす会」の再開
に向けて町としての支援
策は。

●イカす会「イカす会」の再開
に向けて町としての支援
策は。

●イカす会「イカす会」の再開
に向けて町としての支援
策は。

●イカす会「イカす会」の再開
に向けて町としての支援
策は。

●イカす会「イカす会」の再開
に向けて町としての支援
策は。

●イカす会「イカす会」の再開
に向けて町としての支援
策は。

●イカす会「イカす会」の再開
に向けて町としての支援
策は。

●イカす会「イカす会」の再開
に向けて町としての支援
策は。

●イカす会「イカす会」の再開
に向けて町としての支援
策は。

●水道メーターの取替

●水道メーターの取替
平成23年度の水道
メーター取替えを実施す
る地区の件数は。

●水道メーターの取替
平成23年度の水道
メーター取替えを実施す
る地区の件数は。

●水道メーターの取替
平成23年度の水道
メーター取替えを実施す
る地区の件数は。

●水道メーターの取替
平成23年度の水道
メーター取替えを実施す
る地区の件数は。

●水道メーターの取替
平成23年度の水道
メーター取替えを実施す
る地区の件数は。

●水道メーターの取替
平成23年度の水道
メーター取替えを実施す
る地区の件数は。

●水道メーターの取替
平成23年度の水道
メーター取替えを実施す
る地区の件数は。

●水道メーターの取替
平成23年度の水道
メーター取替えを実施す
る地区の件数は。

●水道メーターの取替
平成23年度の水道
メーター取替えを実施す
る地区の件数は。

●水道メーターの取替
平成23年度の水道
メーター取替えを実施す
る地区の件数は。

●水道メーターの取替
平成23年度の水道
メーター取替えを実施す
る地区の件数は。

●水道メーターの取替
平成23年度の水道
メーター取替えを実施す
る地区の件数は。

●水道メーターの取替
平成23年度の水道
メーター取替えを実施す
る地区の件数は。

『頑張れ 東北、頑張ろう日本』

東北地方太平洋沖地震被災地の方々に、心よりお見舞い申し上げ、一日も早い
復旧・復興をお祈りします。

能登町議会として、日本赤十字社を通じて、10万円。石川県町村議会議長会を
通じて10万円を義援金として送りました。

編集後記

去る3月11日午後の東北地方太平洋沖地震における被害は、余りにも甚大で、自然の力に対して人間の無力さを痛感するものでありました。未だ被害の全容を把握できないような状況の中、必死に頑張っておられる被災者の方々に心からお見舞いを申し上げます。そして行方不明者の捜索や、避難者の救護・救援に全力を挙げられている関係者に敬意を表します。

今回の東北地方を襲った地震は、「想定外」の災害を「想定」し、日頃から高い防災意識を持っていなければならぬということをもまざまざとみせつけるものでありました。

町では、今年2月24日に、能登町消防団が、消防団の最高榮譽である日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞したということで、町としても大変喜ばしいニュースがありました。町消防団の日ごろからの鍛錬が全国で認められたこの受賞はこの上ない榮譽であり、消防団の日ごろの訓練や活動に敬意を表します。

消防団の活動だけではなく「おらが町はなつとないやろう」ではなく「おらが町は、おら達で守る」という防災意識を町全体でもてるよう議会としても取組んでいかなければならない。その決意を胸に、議会も頑張っていきたいと思っています。

また、3月定例会には、町会区長会連合会の方々が傍聴にこられました。今後とも貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

広報編集特別委員長

國盛 孝昭



日本消防協会特別表彰受賞報告会

傍聴におこしください

議会傍聴は、議会だよりでは伝えきれない議会の様子を見聞きできます。傍聴の際は、議会事務局で住所・氏名を記入し簡単な注意事項を守っていただくだけです。

団体で希望される場合は議会事務局までご連絡ください。



議場の全景

次の定例会は6月です

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。

過去の会議の内容については、町のホームページで見ることができます。

広報編集 特別委員会

委員長 國盛 孝昭
副委員長 金七祐太郎
委員 市濱 等

小路 政敏
山岸 昭夫
鍛冶谷眞一

発行：能登町議会 編集：能登町議会広報編集特別委員会
〒928-0312 石川県鳳珠郡能登町字上町8字485番地
TEL (0768)76-8310 FAX (0768) 76-2151